

第5回森の未来に出会う旅 シラバス

講義名	大工の講義		
担当者	井上利和氏・沖野誠一氏	所属	井上建築棟梁・沖野建築棟梁
実施日	8月27日(土)	時間帯	8:45~9:45
開催場所	ふれあいの郷 汗見川清流館		
講義目的	大工がどのような思いで家を建てているのかを知る。		
講義内容	<p>沖野誠一氏 プレカットと伝統構法の違いについて、大工の研究や取り組み交えて話してらいます。</p> <p>井上利和氏 家を建てるときに木1本1本の特性をどのように考えながら組んでいるのか、その技術や心構えを話してもらいます。</p>		
備考	<p>プレカット 家を建てる際に必要な土台や柱などを事前に工場で加工すること。</p> <p>伝統構法 伝統構法とは現時点では正確な定義づけはまだされていませんが、筋交いを使わず貫と土壁と木組みを耐震要素とする柔らかいの木構造を指すことが多い。</p> <p>木造軸組工法 伝統構法を元に戦後に生まれた新しい工法。筋交いを入れたり、接合部にプレートや金具を使い強度を保つ。伝統構法の柔らかい構法と違い剛の構造。</p>		